

柱1 確かな学力

■ 目標指標

	指標	基準値	目標値 (令和7年度)
1	協働的な学びの実践状況についての同一集団の前年度比較 (小学校5年生・中学校2年生) 「みんなで課題を解決する場面で協力しようとしているか」の肯定的な回答割合の小学校4年生時・中学校1年生時との比較 *横須賀市学習状況調査	— (新規)	毎年その前年度を上回る
2	自己肯定感についての同一集団の前年度比較 (小学校5年生・中学校2年生) 「自分のことを大切に思うことができるか」の肯定的な回答割合の小学校4年生時・中学校1年生時との比較 *横須賀市学習状況調査	— (新規)	毎年その前年度を上回る
3	1日の読書時間が10分以上の児童生徒 (小学校6年生・中学校3年生) 学校の授業時間以外の平日の1日の読書時間が10分以上の児童生徒の割合 *全国学力・学習状況調査	小6 54.9% 中3 39.7% (令和3年度)	毎年その前年度を上回る
4	英語によるコミュニケーション能力の習得状況 (小学校6年生) 「外国人の先生と授業でコミュニケーションをとってきて、英語でやり取りする力が以前よりついてきたと思うか」の肯定的な回答割合 *横須賀市外国語教育に関する調査	88.3% (令和2年度)	90.8%

指標		基準値	目標値 (令和7年度)
5	教科指導内容の定着状況の同一集団の前年度比較 (小学校5年生・中学校2年生国語・算数/数学) 全国平均正答率を基準とした本市の平均正答率の割合(全国を100としたときの数値)の 小学校4年生時・中学校1年生時との比較 *横須賀市学習状況調査	R2 小4 R3 小5 国語 93.6 ⇒ 93.2 算数 97.2 ⇒ 92.5 R2 中1 R3 中2 国語 97.5 ⇒ 95.2 数学 95.9 ⇒ 96.1	毎年その前年度を上回る
6	教科指導内容の定着状況の全国比較 (中学校3年生国語・数学・英語) 全国平均正答率を基準とした本市の平均正答率の割合(全国を100としたときの数値) *全国学力・学習状況調査	国語 99.1(令和3年度) 97.5(令和元年度) 数学 101.4(令和3年度) 95.3(令和元年度) 英語 100.0(令和元年度)	国語 100.0 以上 数学 100.0 以上 英語 105.0

※ 基準値は、新型コロナウイルス感染症の影響等により調査が実施できなかった場合や実績が例年と著しく異なる場合は、その影響がない年度の数値としています。

施策1 主体的・対話的で深い学びの実現

－個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実－

1 現状と課題

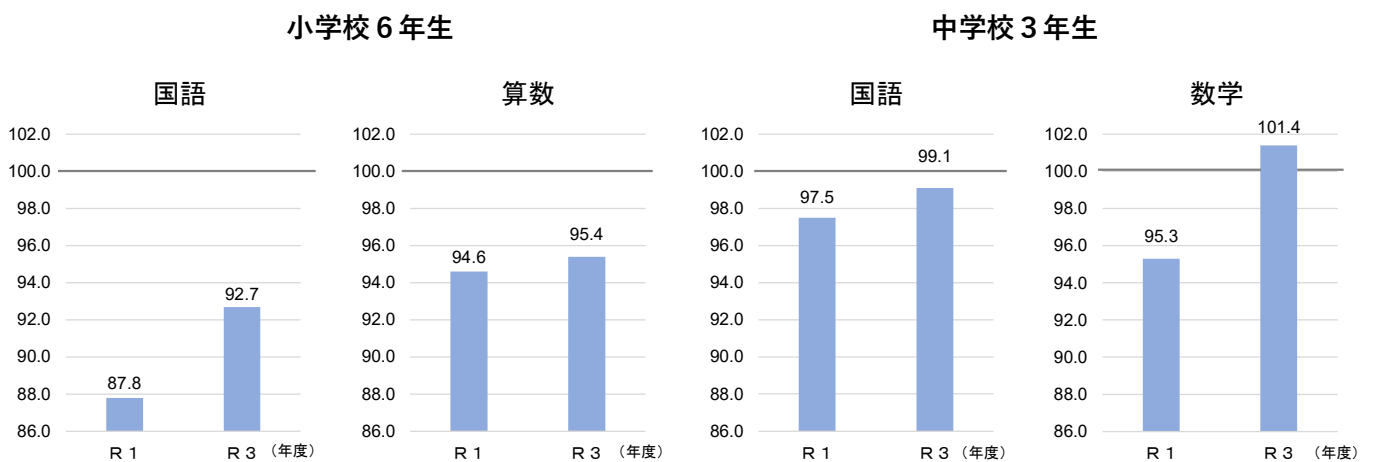
本市の児童生徒の学力は、「全国学力・学習状況調査」の結果によれば、中学校3年生の数学は全国平均を上回っていますが、小学校6年生の国語・算数、中学校3年生の国語は全国平均を下回っています。ただし、小学校から中学校に進むにつれて、より全国平均に近づいていくという状況も見受けられます。

本調査結果は学力の一側面を捉えたものですが、学習の基盤となる資質・能力等の確実な育成は、全ての子どもたちの可能性を引き出すために重要です。

今後、本市の児童生徒の学力を向上させていくためには、学校教育においては、知識・技能の習得にとどまらず、「主体的・対話的で深い学びの実現」を掲げる学習指導要領の趣旨を踏まえた指導が重要です。「一定の目標を全ての子どもが達成することを目指し、個々の状況に合う方法等で学習を進める」「個別に設定した目標に向けて、学習を深め、広げる」「多様な考え方が組み合わさり、より良い学びを生み出す」といった視点での学習改善を図るとともに各種施策を展開し、子どもの資質・能力の育成を図る必要があります。

また、学びに対してあきらめずに取り組む経験や、うまくいかないことも工夫して達成しようとする経験を意図的に生み出すことで、粘り強さや自己肯定感といった「非認知能力」の育成を図ることも求められています。

【全国学力・学習状況調査における全国平均正答率を100としたときの本市の平均正答率】



出典：「全国学力・学習状況調査」(文部科学省)を基に作成(令和2年度は調査が実施されていない。)

2 事業

事業1	横須賀市学力向上推進プランの推進（教育指導課）
概要	<p>本市の全ての子どもたちの「確かな学力」の育成を図るため、「横須賀市学力向上推進プラン」に基づき、学力向上の取り組みを市全体で推進します。</p> <p>プランの推進に当たっては、「横須賀市学習状況調査」「全国学力・学習状況調査」により児童生徒の学習状況や生活状況を把握するとともに、学識経験者等で組織する諮問機関「横須賀市学力向上推進委員会」による提言等を踏まえ、取り組みの充実を図ります。</p>
事業2	学習支援員の配置（教育指導課）
概要	<p>全ての子どもたちが主体的に授業に参加できるようにするため、「学習支援員」を配置し、教職員と連携しながら、学習状況に課題の見られる児童生徒を対象とした個別の学習指導や少人数での補習も含めた学習指導を行います。</p> <p>学習支援員は、学級担任、教科担任等教職員と十分に情報交換した上で授業の補習、宿題等の支援・指導等、対象児童生徒の習熟度に合わせた指導を行います。</p>
事業3	小学校 35 人以下学級の先行実施（教育指導課）
概要	<p>本市の重点課題である学力向上の効果的な取り組みに資するため、学校生活や学習内容の基礎を学ぶ大事な時期である小学校の低・中学年の児童に対して、35人以下学級によるきめ細かな指導を行います。</p> <p>令和4年度（2022年度）に国の施策より1年早く、小学校第4学年に市独自で非常勤講師を配置することで、小学校1年生から4年生全ての学級の35人以下学級を実現します。</p>
事業4	小学校低学年授業アドバイザーの配置（教育指導課）
概要	<p>教員の世代間の偏りにより、経験年数の少ない教員が小学校低学年に多く配置される傾向を踏まえ、「小学校低学年授業アドバイザー」を配置し、対象となる教員の授業づくりや学級経営における指導力の向上を支援し、低学年の確かな学力の定着を図ります。</p>
事業5	教育課程研究会による研究・協議（教育指導課）
概要	<p>学力向上に向けた課題解決に組織的に取り組むため、幼稚園、小学校、中学校および高等学校それぞれの教育課程研究会を通して、教育課程の実施に伴う指導上の諸問題を研究・協議します。</p>

事業6	児童生徒の理科や科学技術に関する興味関心、資質・能力の育成（教育指導課 教育研究所）
概要	<p>児童生徒の理科や科学技術に対する興味関心を高めるとともに、問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育てるため、地域の研究機関、科学技術に関わる企業、退職教職員、小中学校理科研究会等と連携し、児童生徒が主体的に科学事象に関わり、観察、実験に取り組む場や研究成果を発信する場を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 土曜科学教室の開催 ○ サイエンスサマーの開催

事業7	国際コミュニケーション能力の育成（教育指導課）
概要	<p>小・中・高の12年間で、児童生徒の国際コミュニケーション能力の向上および国際教育の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校への外国語指導助手（ALT）・外国人英語教員（FLT）の配置 ○ 小学校外国語活動アドバイザーの配置 ○ YOKOSUKA English World の開催

事業8	幼児教育の充実（教育指導課）
概要	<p>幼児教育の充実を図るため、幼児期における教育課題に取り組んだ市内の実践や各園での研究成果を市内に発信します。また、幼稚園教育課程研究会の活用等により、市立および私立の幼稚園・保育園・認定こども園との連携を推進します。</p>

事業9	横須賀総合高校における国際交流の推進（教育指導課）
概要	<p>横須賀総合高校の国際教育を推進するため、多くの国際交流を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オーストラリア・エラノラ高校との短期留学（毎年派遣・隔年受け入れ） ○ 米海軍横須賀基地内のキニックハイスクールとの交流

事業10	情報活用能力の育成（教育指導課 教育研究所（教育情報担当））
概要	<p>児童生徒が情報や情報技術を受け身で捉えるのではなく、主体的に選択し活用するため、情報活用能力の育成を推進します。</p> <p>また、「ICTの有効的な活用」を研究テーマとしたフロンティア研究校として小中1校ずつに助成し（令和5年度（2023年度）まで）、1人1台端末の有効的な活用事例を市内に発信します。</p>

事業 11	子ども読書活動の推進（教育指導課）
概要	<p>児童生徒の読書への関心を高めるとともに、主体的で探究的な学びを支援するため、学校図書館機能の充実を目指し、学校司書の配置や学校図書館の運営に関わる人材の研修の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 司書教諭への研修 ○ 学校司書の配置 ○ 学校図書館ボランティアの養成
事業 12	チャレンジアップの支援（教育指導課）
概要	<p>高い目標を持ち、意欲的・主体的に学習に取り組むことを目的に、中学校の学習内容にとどまらない、一歩進んだ学習内容へのチャレンジを支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市内在住・在学の中学生に対する各種検定試験（漢字検定・数学検定・英語検定）検定料の助成（準2級以上）
事業 13	芸術鑑賞会の開催（教育指導課）
概要	<p>児童の豊かな心を育成するため、横須賀芸術劇場・横須賀美術館で、優れた演奏や作品を鑑賞する機会を設けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オーケストラ鑑賞会（小学校5年生） ○ 美術鑑賞会（小学校6年生）
事業 14	子どものための音楽会の開催（教育指導課）
概要	<p>文化活動への関心や意欲の向上を図るため、横須賀芸術劇場において吹奏楽部の合同バンドによる「合唱と管弦楽のための組曲『横須賀』」の演奏や、小中学生の作詞・作曲による作品の演奏を聴く機会を設けます。</p>
事業 15	部活動（文化部）の支援（教育指導課）
概要	<p>生徒が各種活動に取り組むきっかけや、生涯にわたって芸術文化等の活動に親しむ基礎を形成できる場の充実のため、部活動（文化部）を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国大会、関東大会への優秀部員の派遣 ○ 中学校、高等学校への専門技術指導者の派遣 ○ 吹奏楽部の活動に必要な楽器の修理・更新
事業 16	リーダースキャンプの開催（教育指導課）
概要	<p>学校生活を豊かにしていくために必要な力を育成するため、市立中学校23校の生徒会活動の交流（リーダースキャンプ）を通して、さまざまな課題や解決策を具体的に話し合うことで、リーダーとしての自覚を高め、自校の取り組みに還元します。</p>

事業 17	児童生徒指導に関わる行事の充実（教育指導課）
概 要	<p>児童生徒の研究や作品などを発表する場を充実させることによって、児童生徒一人一人の学習意欲、創作意欲を向上させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒造形作品展の開催 ○ 読書感想画展の開催 ○ 中学校演劇発表会の開催 など

～ 横須賀市学力向上推進プラン ～

学校教育全体の質の保証・向上に資するため、学識経験者等で組織する諮問機関「横須賀市学力向上推進委員会」による答申を踏まえて策定するプランです。

プランで設定する3つの目標「学び合う集団の状況の向上を図る」「粘り強く学ぶ力の向上を図る」「学力層全体の引き上げを図る」の達成に向けた取り組みを学校、教育委員会が一体となって推進し、本市の全ての子どもたちに「確かな学力」の育成を図ります。

～ 指導の目標と重点 ～

教育振興基本計画（実施計画）の「8つの柱」を基に、児童生徒を指導する上で学校が取り組むべき目標とその内容を「指導の目標」として設定しています。また、「指導の目標」を踏まえ、学校と教育委員会が重点的に取り組むべきことを「指導の重点」として設定しています。

各学校は「指導の目標」および「指導の重点」を基に、教育活動の改善・充実に組織的・計画的に取り組むこととしています。



学校での授業の様子

施策2 学びの連続性を重視した教育の推進

1 現状と課題

子どもの資質・能力の育成においては、幼児期から高等学校までの見通しを持ち、幼小、小中、中高の学びの連携・接続について、学校段階ごとの特徴を踏まえつつ、前の学校段階での教育が次の段階で生かされるよう、学びの連続性を重視することが必要です。

特に、本市では、小中一貫教育の定義を「義務教育9年間を一体と捉え、発達の段階に応じて子どもの学びをつなぐ教育」とし、市立全小中学校において、23の中学校ブロックごとに小中一貫教育に取り組んでいますが、小中学校が共通テーマを設定して授業研究や協議、情報交換等を行うなど成果を上げているブロックがある一方、小中学校での一体的な取り組みにまでは至っていないブロックもあるなどの課題があります。

今後も取り組みの意義をあらためて全小中学校で共有するとともに、小中だけでなく、幼小、中高の連携においても、情報交換や研修、児童生徒の交流活動等の取り組みを充実させる必要があります。

2 事業

事業18	小中一貫教育の推進（教育政策課 教育指導課）
概要	小中学校の教職員が「学びの系統性・連続性」を重視して、義務教育9年間で中学校ブロックの子どもを育てるという意識を醸成し、児童生徒の発達の段階を踏まえた指導を行うため、子どもや地域の実態を基にした共通の教育方針の設定など、協働して教育の充実を図ります。

事業19	就学前教育と小学校教育の連携推進（教育指導課 学校食育課）
概要	小1プロブレムを解消し、子どもの育ちや学びの連続性を重視した教育を展開するため、幼稚園・保育園・認定こども園と小学校との合同研修会の開催やカリキュラムの作成、学校給食を通じた就学前児童と小学生の交流体験を行い、就学前教育と小学校教育の円滑な連携を図ります。

横須賀市立諏訪幼稚園
園児の作品



施策3 特色を生かした魅力ある高等学校教育の推進

1 現状と課題

横須賀総合高校は、平成15年(2003年)に市立高校3校(横須賀高校、商業高校、工業高校)を統合し開校しました。本市唯一の市立高校として、統合前3校の歴史と伝統を受け継ぐ一方、「新しい時代の高校教育」を考えていく中での個性化・多様化・弾力化をキーワードとして生まれた総合学科高校として、全日制・定時制とも生徒が自らの興味・関心や進路希望に沿った履修選択を行うとともに、キャリア教育を重視した指導の充実、国際交流の機会の充実、情報教育の充実を進めてきました。

今後は、高等学校の特色化・魅力化、高等学校に期待される社会的役割の再定義が求められます。令和4年度(2022年度)からの新学習指導要領の段階的な実施および神奈川県教育委員会による県立高校改革実施計画(Ⅲ期)の動向等を踏まえ、これまで築かれてきた横須賀総合高校の特色を生かしながら、これからの時代に求められる、横須賀らしい魅力ある高等学校教育の在り方や姿についての検討を進め、具体的な取り組みにつなげていく必要があります。

2 事業

事業20	横須賀総合高校の特色ある魅力的な教育の推進(教育指導課)
概要	横須賀にある唯一の市立高校として特色ある学校教育の充実を図るため、横須賀市高等学校教育課程研究会の開催や学校研究助成により、教育課程の充実や教員の指導力向上を目指します。また、英語以外の外国語科目にネイティブ講師を配置し、外国語の学びを通して国際的な視野の向上を図るなど、専門家による指導を受けられる授業を開講する等の充実を図ります。

事業21	横須賀総合高校における国際交流の推進(教育指導課) ※事業9の再掲
概要	横須賀総合高校の国際教育を推進するため、多くの国際交流を行います。 ○ オーストラリア・エラノラ高校との短期留学(毎年派遣・隔年受け入れ) ○ 米海軍横須賀基地内のキニックハイスクールとの交流

事業22	横須賀総合高校におけるキャリア教育の推進(教育指導課)
概要	目的を明確にした進路に向かうキャリア教育の充実のために、全日制においては「産業社会と人間」および「羅針」(総合的な探究の時間)の授業において関東学院大学の教授等による専門的な視点での指導を行い、生徒のキャリア意識の醸成および探究的な学びの充実を図ります。 また、定時制においては、市内企業の説明会の開催やインターンシップの実施等、生徒のキャリア意識の醸成を図ります。

事業 23	横須賀総合高校運動部活動の強化育成（保健体育課）
概要	横須賀総合高校の運動部の部活動における競技力の向上や活性化のため、活動に必要な備品の購入や施設用具の整備、指導者の派遣を行います。

事業 24	横須賀総合高校文化部活動の育成（教育指導課）
概要	横須賀総合高校の文化部の部活動における技量の向上や活性化および顧問の負担軽減のため、専門の技術指導者を派遣し、生徒の技術習得を支援します。

～ 横須賀市立横須賀総合高等学校 ～

横須賀市立横須賀総合高等学校は、総合学科の高校です。総合学科では、普通科や専門学科とは異なり、普通科目と専門科目の中から一定の系統性を持ちながら数多くの多様な選択科目が開設されます。この中から自己の能力・適性、興味・関心、進路等に基づき履修する科目を主体的に選択することができる、個性を重視したタイプの学科です。

また、学年の区分をせず、必履修科目とともに自らつくる学習計画に沿って学びたい科目を学習し、決められた単位数を修得すれば卒業できる「単位制」をとっています。

■ 横須賀総合高校の教育目標

一人ひとりの良さを伸ばし、自ら学び、主体的に考え判断し、行動できる、心豊かでたくましく生きる力に溢れた人間を育成する。

■ 横須賀総合高校の目標とする人間像

- ・ 自律心と責任感を持つ人間
- ・ 自他ともに尊重できる人間
- ・ 自己の将来を真摯に見つめ努力する人間
- ・ 横須賀の良さを世界に発信できる人間



横総祭（文化祭）の様子

第32回全日本高校デザイン・イラスト展
内閣総理大臣賞『望遠鏡』岡山奈央（横須賀総合高校）